

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※ 大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	鎌倉女子大学短期大学部
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数					省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	総合教育科目	専門科目	合計		
	初等教育学科	夜・通信	—	—	4	74	78	7	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス (全文検索) https://portal.kamakura-u.ac.jp/campusweb/slbbsskwr.do 検索キーワード「実務経験」を入力し、「実務経験を活かした授業」の講義一覧を表示させる。
「情報公開」>6. 大学等の教育課程に関する情報 (1) 授業科目、授業内容、授業計画：実務経験を活かした授業科目一覧 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	該当なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鎌倉女子大学短期大学部
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

「情報公開」>1. 基本情報 (5)役員・評議員の状況：役員
http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/basic_info/index.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人 理事長	2019年7月6日 ～ 2023年7月5日	管理運営
非常勤	株式会社 代表取締役会長	2019年7月6日 ～ 2023年7月5日	管理運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鎌倉女子大学短期大学部
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画については、各授業科目の「科目ナンバー」、「授業時間以外に必要な学習時間の目安」、「授業概要」、「到達目標」、「建学の精神に基づく深い教養と高い専門性に富む学士力の形成への貢献」、「内容(授業の各回の授業内容)・方法(講義・実験・演習等)」、「準備学習・発展学習」、「成績評価(評価方法・割合)」、「教科書」、「参考書」を記載した『シラバス』を作成している。 ・実務経験のある教員による授業科目については、『シラバス』の「授業概要」に、実務経験のある教員がどのような授業を行うかを記載している。 ・シラバスに記載する必要がある項目、記載方法、留意事項等について『シラバス作成の手引』に示している。 ・『シラバス』の作成過程については、11月に『シラバス作成の手引』を教員に配付し、作成依頼を行う。2月末までに各教員は担当授業科目のシラバスを作成する。各教員が作成したシラバスを学科長・教務担当が確認し、3月末に大学のホームページに公表する。 	
授業計画書の公表方法	シラバス(カリキュラムから検索) https://portal.kamakura-u.ac.jp/campusweb/slbsscmr.do
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修成果の評価については、学則第33条に授業科目の成績評価、第34条に成績評価要件、第35条に単位の授与、第36条に試験について規定し、学生に示している。 ・各授業科目の評価方法については、『シラバス』に記載している。 ・『シラバス』には、試験、課題提出、実技、成果物提出、発表、実践、グループワーク、受講状況等の評価方法をあらかじめ示している。 ・『シラバス』に示した評価方法の複数の要素を用いて、各学生の学修成果を総合的に評価し、単位を与えている。 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・成績評価には、GPA制度を取り入れ、客観的な指標を設定している。
- ・GPAの算出方法は、以下の通りである。

合否	評価	評点	評価の基準	Grade Point
合格	S	100～90点	到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績	4
	A	89～80点	到達目標を十分に達成できている優れた成績	3
	B	79～70点	到達目標を達成できている成績	2
	C	69～60点	到達目標を最低限達成できている成績	1
	合	合格	段階なし	GPAに算入しない
	認	合格	段階なし	GPAに算入しない
不合格	F	59点以下	到達目標を達成できていない成績	0
	E	成績評価なし	評価なし	0
	否	不合格	評価なし	GPAに算入しない

GPAの算出式（小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを算出する）

$$\text{GPA} = \frac{\text{履修登録した授業科目のGrade Point} \times \text{単位数} \text{の合計}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

- ・成績評価とGPAについては、『履修の手引』に示すとともに、大学ホームページ「情報公開」ページに掲載している。
- ・成績の分布状況については、各学期の成績確定後に、教務部学務課でデータをまとめ、資料（成績一覧表、各学年のGPA一覧表（GPA順・学籍番号順））を作成している。学科長・教務担当教員・クラスアドバイザーは、作成された資料を確認することで、成績の分布状況を把握し、学修指導に活かしている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	「情報公開」>6. 大学等の教育課程に関する情報 (2) 学修成果の評価、卒業・修了認定の基準 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・卒業の認定方針については、短期大学部、学科のディプロマポリシーを策定し、大学ホームページに公表している。
- ・ディプロマポリシーについては、カリキュラムポリシーとともに、オリエンテーションの際、学生に理解を促し、学生はディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを意識した履修・学修を行っている。
- ・卒業判定の手順については、卒業学年の成績確定後、まず学科長・教務担当教員・クラスアドバイザーによって卒業要件充足状況を確認し、学科会議において、卒業要件充足者が短期大学士課程修了及び卒業並びに学位授与を認定できるか審議する。続いて教務委員会、学部長会議、教授会の順で審議し、最終的には教授会の議を経て学長が決定している。
- ・卒業の認定に関する方針の具体的な内容は次のとおり。

【鎌倉女子大学短期大学部】

- ・鎌倉女子大学短期大学部は、以下のように学位授与の要件を定める。
 1. 学修者は、本学固有の教育理念であると同時に、古今にわたる普遍の教育理念である「感謝と奉仕に生きる」を常に目途としながら、本学固有の教育目標である「女性の科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、以て自らの職能・職域を通じて健全な生活世界の活動及び形成に参加し、自らの未来を力強く切り拓くため、所定の期間在籍し、基準となる単位数を修得しなければならない。
 2. 短期大学部は、建学の精神を含む「総合教育科目」及び学科の設置目的に照らして編成された「専門教育科目」を共に修得していることを学位授与の基準とする。

【初等教育学科】

- ・本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、豊かな教養、高い倫理性、健やかな身体性を培い、乳幼児及び児童についての専門的知識と保育・教育に関わる実践力を修得した学修者に、以下の諸点を基準としつつ、「短期大学士（教育学）」の学位を授与する。
 1. 乳幼児期及び児童期について深い関心を持ち、主体的に学び続け、その成果を社会に還元しようとする態度を備えている。
 2. 専門分野での学修に必要な幅広い知識と技術を培い、保育・教育について総合的な視点に立って、保育・教育活動を実践できる能力を身につけている。
 3. 責任感と倫理観を持ち、他者と協力して問題解決に努め、連携して仕事を遂行することのできる能力を身につけている。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	教育方針（3つのポリシー）：ディプロマポリシー http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/policy/index.html
----------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※ 大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	鎌倉女子大学短期大学部
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (4) 貸借対照表 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html
収支計算書又は損益計算書	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (5) 収支計算書 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html
財産目録	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (3) 財産目録 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html
事業報告書	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (2) 事業報告書 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html
監事による監査報告(書)	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (6) 監事の監査報告書 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画 (名称: 事業計画書 対象年度: 2019年度)	
公表方法:	「情報公開」>2. 経営・財務に関する情報 (1) 事業計画書 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html
中長期計画 (名称: 中期計画 対象年度: 2018年度~2022年度)	
公表方法:	「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (5) 中期計画 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:	「情報公開」>9. 大学等の評価に関する情報 (1) 自己点検・評価に関する報告書: 鎌倉女子大学短期大学部 自己点検・評価報告書 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/evaluation/index.html
-------	---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:	「情報公開」>9. 大学等の評価に関する情報 (2) 認証評価の結果についての報告書: 短期大学機関別認証評価 評価報告書 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/evaluation/index.html
-------	---

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	初等教育学科
教育研究上の目的（公表方法）	
「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (2)教育研究上の目的 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html	
(概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・初等教育学科は、乳幼児及び児童が生きる生活世界の基礎的理解と、教育・保育の活動等に資する理論及びその応用・実践についての教育研究を通じて、豊かな人間性と高い倫理性及び知見をもった人材を養成し、健全で幸福な社会の発展に寄与することを目的とする。 	
卒業の認定に関する方針（公表方法）	
「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー ディプロマポリシー http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html	
(概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・本学が掲げる教育理念と教育目標に基づき、豊かな教養、高い倫理性、健やかな身体性を培い、乳幼児及び児童についての専門的知識と保育・教育に関わる実践力を修得した学修者に、以下の諸点を基準としつつ、「短期大学士（教育学）」の学位を授与する。 1. 乳幼児期及び児童期について深い関心をもち、主体的に学び続け、その成果を社会に還元しようとする態度を備えている。 2. 専門分野での学修に必要な幅広い知識と技術を培い、保育・教育について総合的な視点に立って、保育・教育活動を実践できる能力を身につけている。 3. 責任感と倫理観をもち、他者と協力して問題解決に努め、連携して仕事を遂行することのできる能力を身につけている。 	
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法）	
「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (4)3つのポリシー カリキュラムポリシー http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html	
(概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・初等教育学科の専門教育科目は、以下の諸点に注力しながら、カリキュラムを編成している。 1. 初等教育、保育・児童福祉に基づく子ども理解を中心に、初等教育、保育・児童福祉に関わる実践的指導能力を身につけた専門家を育成するカリキュラムの編成。 2. 「総合教育科目」を通して幅広い分野に触れ、人間教育を基礎とした品位ある教養を身につけた女性を育成するカリキュラムの編成。 3. 初等教育、保育・児童福祉の本質及び目的の理解を深める科目とともに、実践的能力を育成する実技科目を設け、「専門教育科目」を通して子どもの理解と指導の専門性を高めるカリキュラムの編成。 	

<p>4. 実習を核とした各授業科目の学修内容を有機的に関連させて学修効果を高め、自らの課題解決能力、コミュニケーション能力、表現力などの実践的能力を育成するカリキュラムの編成。</p> <p>5. 「免許・資格プログラム」として、小学校教諭2種免許状、幼稚園教諭2種免許状、保育士、児童厚生2級指導員、レクリエーション・インストラクター、秘書士の課程を設置する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法）</p> <p>「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報（4）3つのポリシー アドミッションポリシー</p> <p>http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html</p>
<p>（概要）</p> <p>・初等教育学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 明確な目標をもち、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げる人。 2. 人とかかわることが好きで、将来、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭等、社会に貢献することを目指している人。 3. 教育・保育に必要な文章力、表現力、身体的能力、コミュニケーション能力を身につけている人。

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>大学院・学部・学科</p> <p>公表方法： 「情報公開」>1. 基本情報（4）法人組織</p> <p>http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/basic_info/index.html</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	0人	—					0人
初等教育学科	—	7人	13人	3人	0人	0人	23人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
1人		42人				43人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		<p>公表方法： 「情報公開」>5. 大学等の教員に関する情報 （3）教員の学位・業績</p> <p>http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/teacher/index.html</p>					

c. FD（ファカルティ・デベロップメント）の状況（任意記載事項）
<ul style="list-style-type: none"> ・教育方法・内容の改善を進めるための全学的な組織として、「キャリア教育・FD委員会」を設置している。当委員会では、教授方法の改善方法について検討し、1年間のFD活動の計画を策定し提示している。 ・「キャリア教育・FD委員会」が中心となり、「授業改善アンケート」、「ピアレビュー」、「授業コンサルティング」、「FD講演会」、「新任教員研修」等の実施、「ニューズレター」の発刊を行い、教員の資質・能力の向上に努めている。 ・授業改善アンケートについては、教員が各セメスターの担当科目から1科目を選択し、授業の中盤（6～7週目）及び終盤（14～15週目）に計2回実施している。1回目のアンケート結果は、各教員に即時にフィードバックされ、教員は学生の意見をもとにセメスター後半における授業方法の見直し等を行うことになっている。2回目のアンケート結果についても各教員にフィードバックされ、教員は、1回目のアンケート結果と比較し自身の授業改善が有効であったか検証するとともに、次年度に向けた更なる授業改善を検討し、「自己評価シート」として、「キャリア教育・FD委員会」に提出することとしている。 ・各教員から提出された「自己評価シート」については、「キャリア教育・FD委員会」が取りまとめ、「授業改善アンケート結果報告書」として発行している。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
初等教育学科	200人	249人	124.5%	400人	502人	125.5%	—	—
合計	200人	249人	124.5%	400人	502人	125.5%	—	—
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
初等教育学科	237人 (100%)	22人 (9.3%)	203人 (85.7%)	12人 (5.1%)
合計	237人 (100%)	22人 (9.3%)	203人 (85.7%)	12人 (5.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
初等教育学科	進学先	鎌倉女子大学短期大学部専攻科／鎌倉女子大学児童学部児童学科／鎌倉女子大学教育学部教育学科		
	学校	[公立] [小学校教諭] 神奈川県／横浜市／川崎市／東京都		

初等教育学科	幼稚園	<p>[公立]</p> <p>秦野市／函南町／小田原市／御殿場市／浜松市／館山市／開成町／小山町</p> <p>[私立]</p> <p>青木幼稚園／泉ヶ丘幼稚園／伊勢原ひかり幼稚園／上の原幼稚園／美し野幼稚園／かおり幼稚園／柿の実幼稚園／金沢白百合幼稚園／川崎こまどり幼稚園／小峰幼稚園／白鳥幼稚園／しらゆり幼稚園／善隣館幼稚園／高砂幼稚園／茅ヶ崎すみれ幼稚園／茅ヶ崎浜見平幼稚園／戸塚こぼと幼稚園／戸塚ふたば幼稚園／仲よし幼稚園／並木幼稚園／野庭幼稚園／文庫幼稚園／みなみ幼稚園／みゆき幼稚園／大和幼稚園／横須賀幼稚園／学校法人湘南やまゆり学園／永野幼稚園／中野幼稚園／お三の宮日枝幼稚園</p>
	保育所 社会福祉 施設等	<p>[公立]</p> <p>横須賀市／綾瀬市／厚木市／大田区／伊豆の田市／静岡市／三島市／長泉町／鎌倉市／藤沢市／平塚市／伊東市／南房総市</p> <p>[私立]</p> <p>根岸星の子保育園／こぼとナーサリー／保土ヶ谷保育園／ことは保育園／洋光台中央福澤保育センター／別所保育園／梅香保育園／五反田保育園／マヤ保育園／うちゅう保育園かまくら／やまゆり保育園／三島ようらん保育園／梅花保育園／十問坂保育園／あゆみ保育園／わかば保育園／なぎさ保育園／かきまの杜保育園／さがみ野ホーム／静岡恵明学園児童部／社会福祉法人どろんこ会／ライクアカデミー株式会社／HITOWAキッズライフ株式会社／株式会社アソシエ・インターナショナル／株式会社こどもの森／株式会社日本保育サービス／株式会社ベネッセスタイルケア</p>
	企業	株式会社臨海／株式会社キッズベースキャンプ／川崎化成工業株式会社／トランスコスモス株式会社／株式会社三和／株式会社資生堂パーラー
(備考)		

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
初等教育学科	242人 (100%)	237人 (97.9%)	1人 (0.4%)	4人 (1.7%)	0人 (0.0%)
合計	242人 (100%)	237人 (97.9%)	1人 (0.4%)	4人 (1.7%)	0人 (0.0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>「情報公開」>6. 大学等の教育課程に関する情報 (1)授業科目、授業内容、授業計画 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html</p> <p>・「授業科目、授業内容、授業計画」の項目に掲載されている内容は次のとおり。</p> <p>1)各授業科目の科目ナンバー、カリキュラムチャート 2)各学科のカリキュラム 3)シラバス 4)実務経験を活かした授業</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>「情報公開」>6. 大学等の教育課程に関する情報 (2)学修成果の評価、卒業・修了認定の基準 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html</p> <p>・「学修成果の評価、卒業・修了認定の基準」の項目に掲載されている内容は次のとおり。</p> <p>1)成績評価基準、GPA制度、GPAの算出式 2)卒業要件単位、取得可能学位</p>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学科名</th> <th>卒業に必要となる 単位数</th> <th>G P A制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初等教育学科</td> <td>63単位</td> <td>有・無</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)	初等教育学科	63単位	有・無	—
学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)					
初等教育学科	63単位	有・無	—					
G P Aの活用状況 (任意記載事項)								
<p>「情報公開」>6. 大学等の教育課程に関する情報</p> <p>公表方法： (2)学修成果の評価、卒業・修了認定の基準：成績評価基準、GPA制度 http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html</p>								
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)								
<p>「情報公開」>10. 大学等のIRに関する情報</p> <p>(1)学修時間 (2)学生の学修に対する意欲 (3)学生の成長実感 (4)学生の満足度 (5)単位取得状況 (6)学位取得状況 (7)修業年限期間内に卒業する学生の状況 (8)免許資格取得状況、国家試験合格状況</p> <p>公表方法： http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/ir/index.html</p>								

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： 「情報公開」>3. 大学等の教育研究上の基本情報 (6) キャンパスの概要、耐震化
<http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	初等教育学科	640,000円	380,000円	373,000円	施設費、実験実習費、教育充実費、文化厚生費、同窓会終身会費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

「オフィスアワー制度」

- ・講義や自主学習の中で感じた疑問点を教員に直接質問できる制度を設けている。
- ・各教員が週に2時限のオフィスアワーを設定し、予約をすることなく、専任教員に会って質問や相談をすることができる。
- ・教員一人ひとりが学生の修学意欲を支えている。

「クラスアドバイザー」

- ・各学科各学年にクラスアドバイザーが配置されており、授業の選び方や学習の方法、学生生活での悩みなど、学生が抱えるさまざまな問題に対応している。

「教務部教務課・学務課・免許・資格指導課」

- ・教務部教務課では授業、試験、教科書に関すること等、学務課では履修登録、各種証明書の発行等、免許・資格指導課では各種実習に関すること等を通じて、修学支援を行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

「就職センター」

- ・就職センターでは一般企業や公務員を中心に学生が希望する職種や業種、進路に進むための支援を行っている。
- ・オリエンテーション、就職支援講座を開催するほか、就職相談、履歴書やエントリーシート・提出書類の添削、面接対策（模擬面接など）にも個別に対応している。
- ・就職カウンセラーだけでなく、就職センターのスタッフ全員が学生をフォローし、就職活動への不安や疑問を解消するサポート体制が整っている。

「教職センター」

- ・教職センターでは教育・保育者をめざす学生を総合的にサポートする体制を整えている。

- ・教員採用試験対策講座の開催のほか、教職全般に関する個別相談や、幼稚園教諭・保育士としての就職活動支援を行っている。
- ・試験対策・就職活動支援とともに信頼される教育・保育者となるために何が必要かを伝えている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

「学生相談室」

- ・学生相談室では、学生生活の様々な場面で精神的不安を抱える学生に対し、臨床心理士の資格をもつ相談員によるカウンセリングを通して、学生生活を充実して送ることができるようにサポートしている。

「保健センター」

- ・保健センターでは、けがや病気に対する救急処置はもちろんのこと、学生の健康保持増進を目的とした健康づくり支援を行っている。
- ・充実した学生生活を送るためには、心身ともに健康であることが大切であり、健康上の悩みについて、気軽に相談できる体制となっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： 大学ホームページ>大学概要>「情報公開」
<http://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/index.html>